

担当部課名	企画広報課	関連部課名	秘書課
-------	-------	-------	-----

基本目標	市民とともに歩むまちづくり【協働・行財政運営】
------	-------------------------

施策名	広報・広聴
-----	-------

市民に開かれた市政運営にむけて、広報やホームページ、出前講座、パブリックコメント等による広報活動の充実を図るとともに、市民アンケート調査や市民対話、行政への市民参加体制の強化、市民相談窓口の充実などを通じて多様な広聴活動を推進します。

施策が目指す蒲郡市の将来の姿

- 行政情報を市民に伝えたり、市民の声を市政に反映させたりする広報・広聴活動が盛んで、市民の行政参加の場の確保が積極的に図られています。
- 市民と行政が身近で信頼が築かれ、相互一体となった市政が運営されています。

◆具体化した施策の取り組み実績

1 広報活動

項目	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度計画
広報がまごおり配布率	98.13%	97.30%	98.00%
定例記者会見等情報提供数	880	894	900

2 広聴活動

項目	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度計画
地域懇談会の開催	-	-	市内7地区で開催
市長への手紙	153通	138通	150通

◆評価指標

指標名	区分	平成22年度	平成23年度	平成24年度	将来目標
広報がまごおり配布率	目標値		97.58%	98.00%	
	実績値	98.13%	97.30%		平成32年度
定例記者会見情報提供数	目標値		60	60	
	実績値	52	60		平成32年度
記者リリース件数	目標値		830	840	
	実績値	828	834		平成32年度
新聞記事掲載件数	目標値		4,200	4,200	
	実績値	4,164	4,182		平成32年度
インターネットTV放送数	目標値		20	30	
	実績値	12	26		平成32年度
地域懇談会参加人数	目標値		-		
	実績値	-	-		平成32年度
地域懇談会参加者満足度	目標値		-		
	実績値	-	-		平成32年度
市長への手紙投稿率	目標値		0.57%	0.50%	
	実績値	0.54%	0.49%		平成32年度

◆指標の説明・考え方

指標名	説明・考え方
広報がまごおり配布率	年間平均配布数／年間平均世帯数×100
定例記者会見情報提供数	市長定例記者会見議題年間総件数
記者リリース件数	記者リリース年間総件数
新聞記事掲載件数	新聞記事掲載年間総件数
インターネットTV放送数	インターネットTV放送年間総件数
地域懇談会参加人数	年間参加人数の合計数
地域懇談会参加者満足度	参加者アンケート(5段階評価)において3以上と答えた方の割合(%)
市長への手紙投稿率	投稿数／配布数×100

◆指標の分析

・広報がまごおりの情報は、ホームページで掲載するため、流動世帯への配布に反映されない場合があると考察できる。記者クラブへの情報提供は、ほぼ横ばいで推移している。動画情報を積極的に、CATV放送、インターネットTVで放映する必要がある。

・地域懇談会は、平成24年度から実施。参加者数、参加者満足度を指標とし、参加者、満足度の上昇を目指す。市長への手紙は、広く市民の声を反映させるために実施し定着しているが、意見・提案・アイデアは少なく、個人的な要望・苦情が多いのが現状である。

◆今後の方針

施策の課題 広報がまごおりの配布は、地域コミュニティ活動の一環として普及率を高める必要がある。オール蒲郡市として記者クラブへ積極的な情報提供を行うために、情報伝達手段として意識を共有化した仕組みを構築する必要がある。動画情報を活用したシティプロモーション事業を積極的に進める。

地域懇談会、市長への手紙は、ともに広く市民から意見・提言を聴取するために必要である。蒲郡市民全員が必ずしも地域懇談会に参加できるとは限らず、地域懇談会場で意見を述べにくい場合もあるため、市長への手紙も引き続き併用するのが望ましい。

今後の 施策 展開	<p>・オール蒲郡市として記者クラブへ積極的な情報提供を行うために、広報担当者会議を実施し、情報伝達手段として意識を共有化した仕組みを構築する。</p> <p>・地域懇談会は、より多くの市民が参加し、意見を出しやすい会とするための開催方法を検討したい。市長への手紙は、実施方法(記名方式、期間)等について検討し、より多くの市民の声を市政に反映させていきたい。</p>
-----------------	---

課長評価	構成事業の 進捗状況	B: おおむね計画どおり進行している。
	施策の 進め方	B: 一部見直しが必要である。
	コメント	・透明性のある分かりやすい広報・公聴、市民の機運が高まるシティープロモーション事業を積極的に推進すべきである。市役所内の横の連携を密にする仕組みを考察すべきである。・地域懇談会は、各回毎に問題点・課題等が出てくるので、逐次検討をしながら進めていくべきである。

部長評価	施策の 進捗状況	B: 目指す将来像実現に向けておおむね計画どおり順調に進行している。
	コメント	市民の行政への積極的な参加が求められている中で、広報・広聴活動は両者の信頼関係を築きあげていく上で重要な要素となっている。広報については多種多様化するニーズがある中で、多くの媒体を通じて、いかに多くの情報を分かり易く、正しく、早く提供することができるかが大きな課題となっている。また、広聴については、現状、地域懇談会・市長への手紙・市長対話等々多くの手法により意見を求めているが、何らかの形で多くの市民にフィードバックするなど、広報・広聴により市民に開かれた市政運営に努めることが必要である。

施策に属する事務事業一覧

総合計画	所管課	番号	事業名	人件費を除く 事業費(千円)	人件費 (千円)	人工	総合 評価	事業の 種別	市長 コメント	実施 計画
6-6	企画広報課	26	広報がまごおり発行事業	8,572	10,469	1.43	B	カ	-	×
6-6	企画広報課	27	記者クラブ管理事業	1,034	441	0.06	B	イ	-	×
6-6	企画広報課	28	蒲郡市民間大使活用事業	21	368	0.04	C	カ	-	×
6-6	企画広報課	29	定例記者会見開催事業	0	1,283	0.15	A	カ	-	×
6-6	企画広報課	30	CATV放送委託事業	2,400	635	0.07	B	カ	-	×
6-6	企画広報課	31	市長への手紙・市民の声投書箱事業	217	908	0.14	B	カ	-	×
6-6	企画広報課	32	シティープロモーション事業	5,663	1,715	0.27	A	カ	-	○